



福島医大副学長・
内閣官房参与
吉村 泰典氏

高齢で妊娠する女性が増加しています。女性の社会進出に伴うキャリア形成願望が未婚化につながり、晩婚化・晩産化傾向がみられるようになっていきます。結婚年齢の上昇とともに、初産年齢が

高年齢で妊娠する女性がい、海外では四十歳以上の経産婦を高年齢妊婦としています。

が挙げられます。これらでは染色体異常児も多くは卵子の生物学的な加齢現象が胚発生や妊娠の維持に影響を与え、頻度が前

嚴重な妊婦管理 必要

高年齢妊婦では、加齢そのものが妊娠に与える影響と、加齢に伴い増加する病気が妊娠に合併するという二つの問題があります。前者の代表的な例として染色体異常や流産

増加すると考えられ、現在の医学では解決できません。後者としては糖尿病や高血圧などの生活習慣病、妊娠高血圧症候群や子宮筋腫合併妊娠などがあります。合併症妊娠の増加により、子宮内胎児発育遅延や早産が起こりやすくなり、高年齢妊婦増加に伴い巨大児分娩と

高年齢妊娠・出産のリスク

わが国は現在、世界で多数の周産期医療を提供できることから、当然のことながら高年齢出産でもすべて順調に経過できることも少なくありません。妊娠年齢の高齢化は多くの困難、問題が伴いますが、最も尊重すべきはカップルが主体性を持って自らの人生設計をすることです。その選択に際し、高年齢妊娠に伴うリスクの情報を入手したり、妊娠する前に医師とリスクについて相談することも大切となります。

次回8月15日掲載